

第 19 期 決 算 公 告

2024 年 6 月 5 日

株式会社日立医薬情報ソリューションズ

当会計年度 (2024年3月31日)			
区分		区分	金額(百万円)
(資産の部)		(負債の部)	
Ⅰ 流動資産		Ⅰ 流動負債	
現金及び預金	72	買掛金	1,554
関係会社預け金	1,656	未払法人税等	309
売掛金	2,648	未払金及び未払費用	358
契約資産	251	預り金	29
仕掛品	51	前受金	82
未収入金	45	賞与引当金	530
その他流動資産	131	役員賞与引当金	34
流動資産合計	4,858	製品保証引当金	58
		リース債務	232
		流動負債合計	3,190
Ⅱ 固定資産		Ⅱ 固定負債	
有形固定資産		退職給付引当金	196
建物附属設備	58	リース債務	496
工具器具備品	32	資産除去債務	95
リース資産	722	その他固定負債	53
無形固定資産		固定負債合計	840
ソフトウェア	51	負債合計	4,031
投資その他の資産		(純資産の部)	
長期前払費用	22	Ⅰ 株主資本	
差入敷金保証金	198	資本金	250
前払年金費用	96	資本剰余金	
繰延税金資産	254	資本準備金	250
固定資産合計	1,437	その他資本剰余金	450
		利益剰余金	
		その他利益剰余金	1,314
		繰越利益剰余金	1,314
		株主資本合計	2,264
		Ⅱ 評価・換算差額等	-
		Ⅲ 新株予約権	-
		純資産合計	2,264
資産合計	6,295	負債純資産合計	6,295

注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

注記

(1) 当期純損益

1 株当たり当期純利益 43,541 円

(2) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

仕掛品…個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっております

貯蔵品…最終仕入原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっております

2. 固定資産の減価償却の方法

(イ) 有形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっております。

(ロ) 無形固定資産

定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用期間(5年)に基づいております。

(ハ) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(イ) 賞与引当金…従業員の賞与の支出に備えて支給見込額のうち、当事業年度負担分を計上しております。

(ロ) 退職給付引当金…従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

(ハ) 役員賞与引当金…役員の賞与の支給に備えるため、当事業年度における支給見込額を計上しております。

(二) 工事損失引当金…受注案件の損失に備えるため、当事業年度末において損失の発生が見込まれ、かつ、その金額を合理的に見積ることができる受注案件について、翌事業年度に発生が見込まれる損失を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2020年3月31日)を適用しております。

当社が主な事業としている情報システムの運用・保守サービス、ソフトウェア開発、システム機器販売・自社パッケージソフトについて、顧客との契約に基づき履行義務を識別しており、それぞれ上記の会計基準等を適用して収益を認識しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(イ) 消費税等の会計処理は、税抜方式となっております。